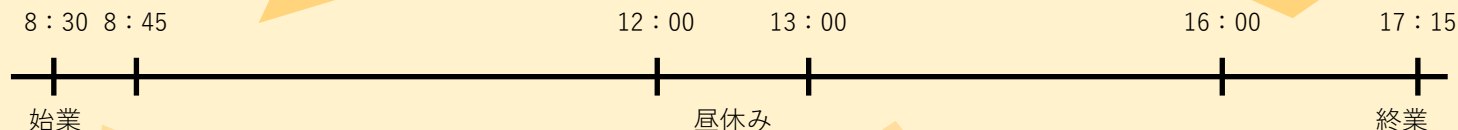


管理栄養士



栄養管理部
栄養士
令和5年4月採用

ある1日の
スケジュール



個人栄養指導

入院及び外来患者さんの個人栄養指導を行い、調理師が作った昼食と献立の確認をします。担当病棟の栄養管理計画書を作成します。



確認作業

調理師が作った夕食と献立を確認し、入院患者献立の修正等を行います。



ミーティング

担当者からの申送りとスケジュールの確認を行います。



書類作成及びカンファレンス

担当病棟の患者さんの食事調整や栄養管理計画書を作成します。担当病棟のカンファレンスに参加し、看護師と情報共有を行います。



退勤後

帰宅後は音楽を聴いてリラックスしています。休日は友人と美味しい物を食べに行ったりして、オンとオフの切替えをしています。



現在担当している業務について教えてください

大きく、給食管理と臨床栄養に分かれています。

給食管理は、食札などの給食関連書類の管理、常食から痛風食などへの献立展開や食材発注などを行っています。臨床栄養は、患者さんのベッドサイドで聞き取りを行って食事調整をしたり、個人栄養相談をしています。

仕事をするうえで心がけていることを教えてください

不安な事や分からないことは一人で決め込まずに、必ず他職種の方や上司に相談するようにしています。また、アレルギーや誤嚥など食事が命に関わることもあるため、食事確認の際などは指差し確認をしながら間違いのないように気を付けています。

高知大学医学部附属病院の栄養士として働く魅力を教えてください

経験豊富な先輩方が多く、分からないことがあってもやさしく相談に乗ってくださいます。また、臨床だけでなく献立作成などの給食管理業務もあるので、様々な分野で経験を積むことができます。

手術の後や癌治療で食事が食べられなくなった方に聞き取りと食事調整をした後に「食べられるようになった、ありがとうございます」とお言葉をいただけた時は嬉しく思います。入院中は食事を楽しみにしている患者様も多いので「食事が美味しかった」などの言葉がいただけたときも嬉しく、日々栄養士としての仕事の魅力を感じています。

目標とする将来像を教えてください

それぞれの病態の栄養に関するスペシャリストになれるようになりたいです。

今後は、病態に対する専門管理栄養士の資格を取得し、スキルアップを図っていきたくと考えています。

また、患者さんが安心して食事のことを相談できるような管理栄養士になっていきたいです。

部署からのメッセージ

『一人で悩むことなく業務ができること』が、大学病院管理栄養士の利点の一つと考えます。令和7年現在で在籍管理栄養士が14名おり、それぞれが目指す専門管理栄養士(糖尿病・がん・アレルギー等)に向けて研鑽しています。また、JSPENの認定研修施設であり、充実した教育・研修制度を提供しています。